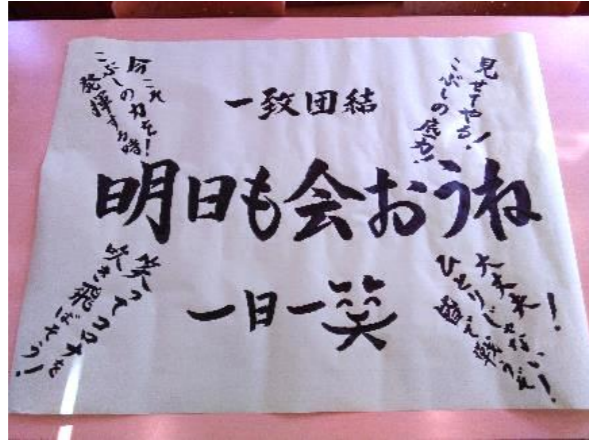


書道が得意な職員の仕事！
大変な中、
パワーをもらいました。



理事長 荻部 一夫

運を引き寄せる
コミュニケーション

龍鳳にもコロナが襲来し、皆様には大変ご心配をおかけしました。改めてお詫び申し上げます。現在はピークを過ぎ快復してきておりますことをご報告いたします。

この間現場では何週間も日々ウイルス阻止の苦戦を強いられました。そして仲間が次々と倒れ、それでも残った人数の中で、果敢に恐怖に立ち向かう職員たちの姿には理事長として感服してきました。私は、このような闘いの志気を支えてきているのは、何より職員間の信頼とプラスのコミュニケーションではないかと考えています。

北京オリンピックで話題になったカーリングのロコソラーレ。このチームのエピソードからは、数々のことを教えられる。テレビ中継で彼女たちは、終始しゃべっています。それも大声で。実況中継のように投げたストーンのコースや曲がり方を言葉にしていきます。しかも全員が笑顔で。対戦相手の眉間に皺を寄せた厳しく怖いような目つきや、ほとんど無言で試合を進めている様子と比較すれば瞭然です。あきらかにロコソラーレというチームが醸し出している雰囲気は、他チームとは違います。

彼女たちはこうしたコミュニケーションをメンバー全員で意識的に行っているのです。きっかけは、チームの成績が思わしくなかったとき、何が原因かを話し合ったそうです。その結果、「自分たちには『運』がない。」そうであるならば、「自分たちに『運』を引き寄せることをしよう。」となり、その

具体的な行為が「コミュニケーションをとること。それもプラスの内容を気兼ねなく伝えること。」になったのだそうです。

確かに中継映像を見ると、ストーンが手元から離れた瞬間から、「いいよー」「曲がらないー」などを視点の違うメンバーからリアルな情報発信をしています。狙い通りのコースであれば、「ナイスー」と賞賛の音が瞬時に聞こえます。思い通りにいかなかったときでも、「笑顔」を伝えていきます。そこには、分析とアイデアの言葉はあっても、決してマイナスの言葉はありません。

負け試合の直後の反省会では、敗因は「ナイスー」「ありがとう」の声掛けが足りなかったことだと、常にプラスのコミュニケーションを強く意識していたことがわかりました。そのことこそが「運」を引き寄せる一番の方法だと信じているのだと思いました。

そんなロコソラーレも、予選5勝4敗でメンバーも誰もが準決勝敗退を覚悟しただろうそのとき、奇跡は起きます。まるで彼女たちの言葉通り「運」を引き寄せ、みごと決勝まで進み、銀メダルをとることができたのです。

私は、コロナが龍鳳を襲ったとき、これと同じことが職場の中でも起こっていたのではないかと考えています。「運」は、決められたものではなく、自分たちで変えられるものだと思っていて、プラスのコミュニケーションがとれる職場づくりに努めていきたいと思えます。

写真についてはご本人（代理人又は成年後見人）の同意を得て掲載しております。

<大鹿 真利会>

コロナ療養後、Aさんと久しぶりの再会時。当支援者の顔を見るなり「あっ！」と目を真ん丸にしてニヤリ顔！当支援者が久しぶりの再会に浸っているとAさんから「明日、運動やろうね！」と意欲の高さが見える一言と、去り際に「エイエイオー！」とやる気が見られて、ホッコリ！

Bさんは目が合うといつもニヤリ顔で「今日居たの?」「こないだ休みだったね」と話しかけてくれる。そんなBさんとコロナ療養後久しぶりに遠目から目が合った。変わらないニヤリ顔！会話はしていないけど、笑顔から元気をもらった！笑顔っていいものですね(^^)!

キラリ☆と光るこの一枚



いつか家族に、ケーキを作ってあげられます！！
(中村)



食器拭き好きなんです！！
(中村)

小さな成長



龍鳳に就職してからもうすぐ1年が経とうとしています。来月には、新しい職員さんがやって来ます！つまりは…私も先輩職員になります！そうです！少し前まで机に向かっていた学生が、生活支援員だけじゃなく、社会人として2年目になります！

初めの頃を振り返ると、業務を覚える事やこぶしの利用者さん一人一人との信頼関係が上手く築いていく事が出来ず、勤務中の他に自宅でもどうしたら上手く築けるのか一人で考え悩む時期がありました。昔の自分と比較すると、少しではありますが成長出来ていると感じています。

成長出来ているのは自分自身の努力もあると思いますが、私の中では職員と利用者の方々一人一人の存在がとても大きいと考えています。皆が明るく楽しく過ごしている様子を見ていると、私も楽しくやらなきゃ！と元気を貰いながら頑張っています！今後も組織の一員としてより良い支援づくりに貢献していきたいと考えています！

生活支援員 近藤 伸哉

★「できた！が増える・成長できる！」～作業・活動紹介のコーナー～★

こぶしでは「人は生涯に渡って成長・発達し続ける」という考えを大切にしています。毎日の作業活動の中では少しでも「できた」が増えるよう支援者による工夫が散りばめられています～♪

①紹介したい活動内容

- ・机上で行う学習、趣味、創作活動、弁別、プットイン、
- ・マッチングなどの注視課題
- ・軽作業（ビーズ・編み物・キャップの仕分け）
- ・季節行事の準備

②活動のねらいは？

- ・集中して作業できる
- ・学習の継続

③どんな工夫をしていますか？

- ・役割分担をしての作業

④利用者さんのできた！や新たな発見を教えてください

- ・目印を付けるなど小さな工夫や改善を行う事で「できた！」経験を増やせた時

⑤最後に…こぶしだよりを読んでいる方へメッセージをお願いします

- ・日々のご支援ありがとうございます、引き続きよろしく願いいたします

(基本プログラム課 山賀 真実子)



見えないこと

今年はいつになく寒い冬でした。そんな冬を越えてやってくる春は誰もが待ち遠しいものです。

先日、歯科通院をした時のことでした。歯科医師が何かを落とした音が聞こえました。私はそのことを音としては認識しましたが、何かはわかりません。ただ落ちたものの行方を気にしていました。

するとスタッフの方が気づいて医師側に移動して拾ってくれたようでした。それがわかったのは「ありがとう」という言葉からです。内部の処理だから拾うのは当たり前、治療中だからお礼は言わない。ともし歯科医師が思っていたら私はそのことがずっと気になっていたかもしれません。でも「ありがとう」のひとつで私には見えなかった問題が解決したと知ることが出来ました。

季節も実はそうなのではないかと思っています。暦の上では2月に春はやってきますが実際に私たちが感じる春はそれより先のことです。目に見える梅の花の蕾などももちろんありますが、気温が高くなってきていることは温度計を見なくても、肌で感じて服装を調節します。それは私たちが冬を越えれば暖かくなる。だから薄着になってきても大丈夫と認識していることからです。

しかし、世の中には私たちに見えない、そして先のわからないこともたくさんあります。その時に私たちは春が来るから大丈夫と思えるように生きていけるのか、もう何もかもが終わってしまったと思うのか、それは日々の中で、いかに見えないことを見えるようにしていこうと努めているかにかかっていると思います。

大変なことは多く経験しない方がいいかもしれません。でも、経験に備えて準備をすれば同じ大変なことも次の時にはもっと簡単に乗り越えていけるようになります。それには一人ひとりが持つ力を誰しもが信じていくことが大切です。

目に見えないことはたくさんあるけれど、そこを見る力、感じる力を私たちは持っているはず。これからも困難だけでなく、楽しいことも見える力をたくさんもちながら次年度へと皆が羽ばたけるように尽力していきます。

総務事務部部長 小松崎 希史子



一年目の私へ

早いもので来月こぶしに入職して丸5年となります。右も左もわからず、もうダメだ…と何回も思った一年目の私に「諦めずに続けているよ」と胸を張って言える年数になったなあと感じています。

私事ですが、昨年の4月に余暇課の課長を命じられました。毎年課長になっていく先輩たちを見て、「いつかは課長になるのだろうか」と漠然と思っていましたが、ついにその時がやってきました。いつかはとは思っていましたが、私の4年間の仕事ぶりを見ての評価であるとは思いつつ、仕事に取り組んだ成果が実って良かったと喜んだのを覚えています。次年度も継続となりましたので、利用者さんの笑顔の為に余暇を充実させていきたいと思っています。

ここで一年目の私へエールを送りたいと思います。一年目の私へ、大変だと思う事いっぱいあるけれど、大変の中には沢山楽しい事も詰まっているからね！ファイト！

生活支援員 佐藤 里胡

Cafe ふわっとん 人気メニュー紹介



レモンパッパーチキンセット 1,100円

ボリュームたっぷりの厚焼き卵サンドと、しゃきしゃき玉ねぎにゆず胡椒のきいたレモンソースをからめたチキンのサンド、日替わりポタージュスープのセットです。

昨年から、PayPayがご利用いただけるようになり、更に便利になりました♪



東京都清瀬市上清戸1-15-18
TEL：042-497-9482
OPEN：10：00～16：00（LO15:30）
定休日：土・日・祝日
駐車場あります☆